

# こどものアレルギー疾患とは？

1	アトピー性皮膚炎	(10%)
2	気管支喘息	(7%)
3	アレルギー性鼻炎	(20%)
4	花粉症	(5%)
5	蕁麻疹	(3%)

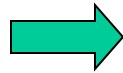
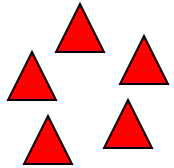
※括弧内の数値は、学童期の疾患罹患率です。

# アレルギー疾患の成り立ち

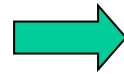
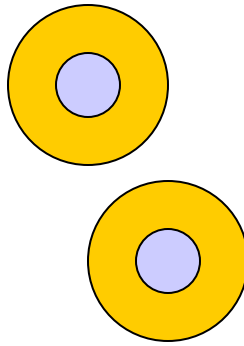
- 1 外からの抗原が体に侵入する。
- 2 抗原に対して抗体 (IgE)を過剰につくる。
- 3 抗体が肥満細胞に結合する。
- 4 抗原が再度侵入し、抗体と抗原抗体反応をおこす。
- 5 肥満細胞からいろいろな物質が放出される。
- 6 アレルギー反応を増強する細胞が活性化される。
- 7 好酸球、リンパ球が反応局所に集まり、アレルギー性炎症が強く、長く続く。

抗原侵入

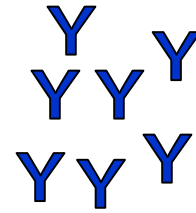
ダニ  
花粉  
食物



Bリンパ球



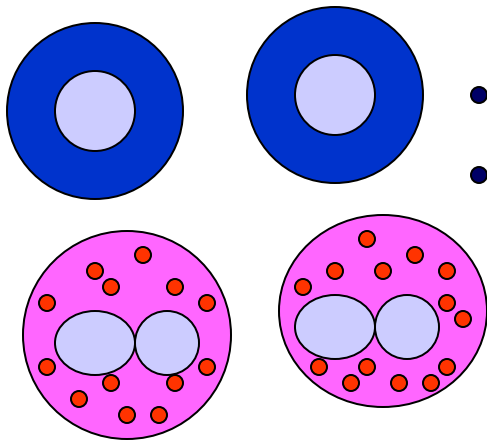
IgE抗体産生



抗原が暴露し抗原抗体反応



Tリンパ球が活性化



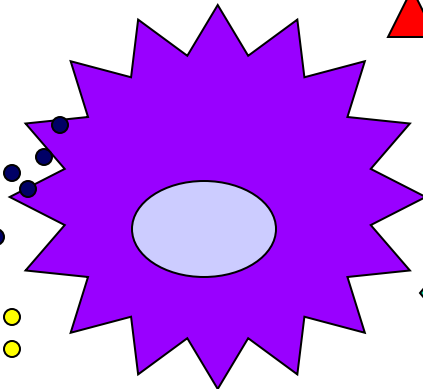
症状の遷延(慢性炎症)

好酸球が活性化

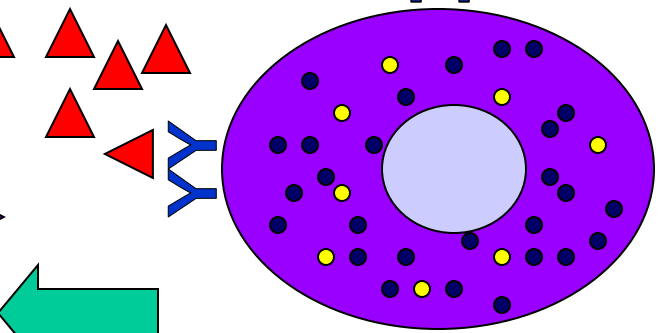
ヒスタミン放出

急性症状 (ショックなど)

マスト細胞が  
脱顆粒する



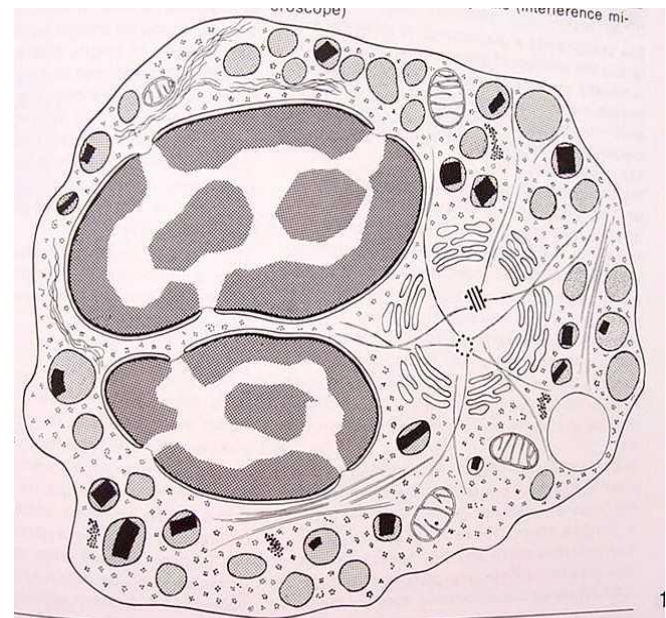
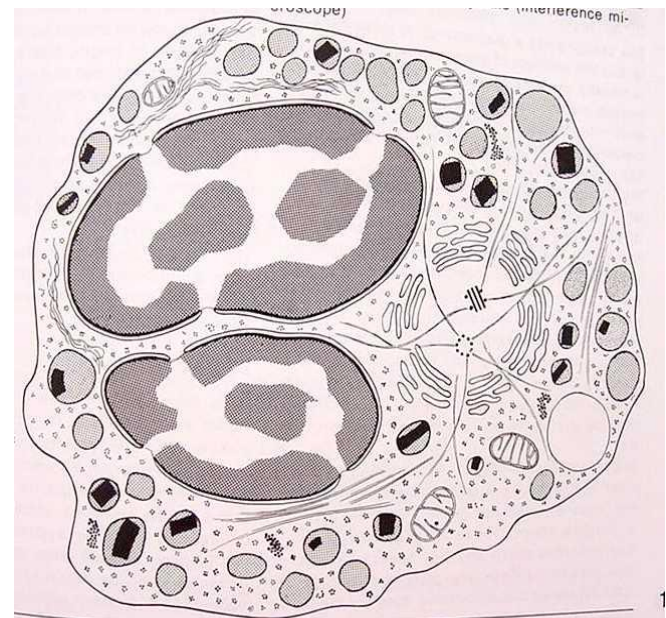
肥満細胞にIgE抗体が  
結合する(感作)



# 好酸球

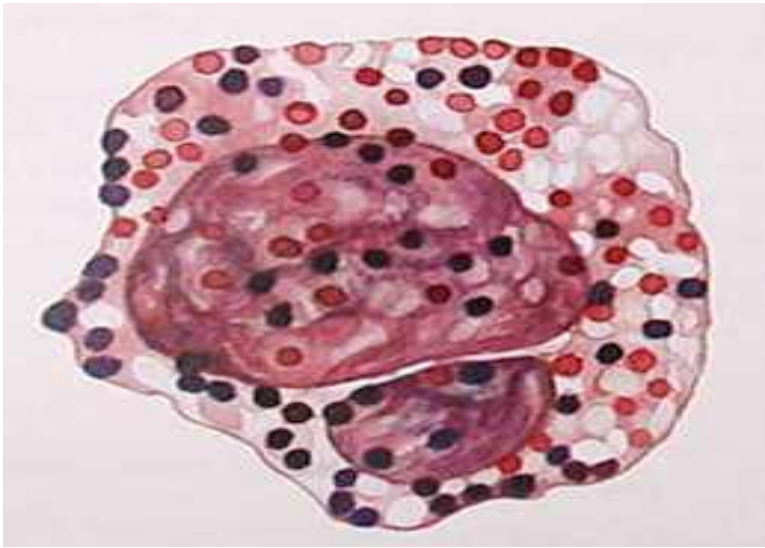
Eosinophils

アレルギー性炎症の主役。  
血液中に循環しているが、  
骨髄や組織中に沢山ある。  
寄生虫の侵入に対して攻撃  
する細胞でもある。

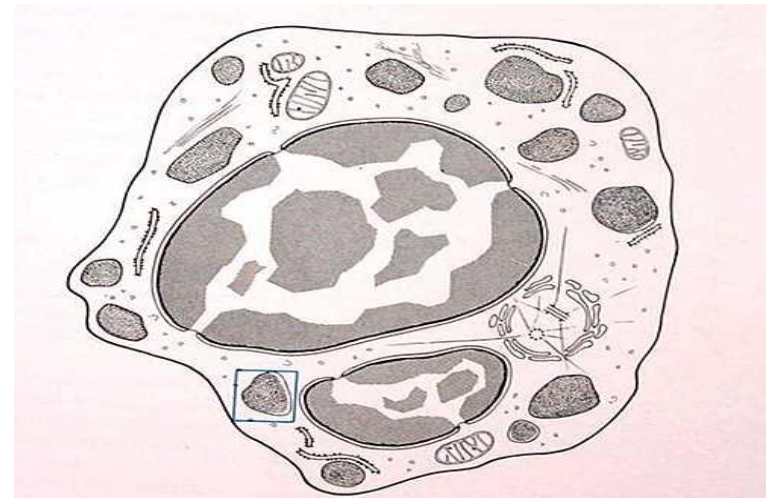


# 肥満細胞

Mast cell



即時型アレルギー反応の主役。  
肥満細胞は組織中に沢山ある。  
血液中に循環している、同じ働きのあるものが好塩基球。



# アレルギー検査

## 血清IgE値

乳児 10u/ml以下、

幼児 50u/ml以下、

学童 100u/ml以下

100u/ml以上はIgE高値と判断する。

## 末梢血好酸球数

乳児から学童まで5%未満が正常値

5%以上は好酸球増多

# アレルギーマーチ



小児のアレルギー疾患は、アトピー性皮膚炎から始まり、経過中に気管支喘息発作を起こすことが多い。また、喘息が軽快してもアレルギー性鼻炎の症状が続くこともしばしばある。

このようにアレルギー疾患が次々に起こることをアレルギーマーチとよんでいる。

# アトピー性皮膚炎とはどんな病気？

カサカサしたかゆみの強い湿疹です。

赤くなったり、ジュクジュクすることもあります。

引っかいて血のかさぶたをつくることもあります。





# アトピー性皮膚炎の病変部位

ひじ



足の関節



ゆび

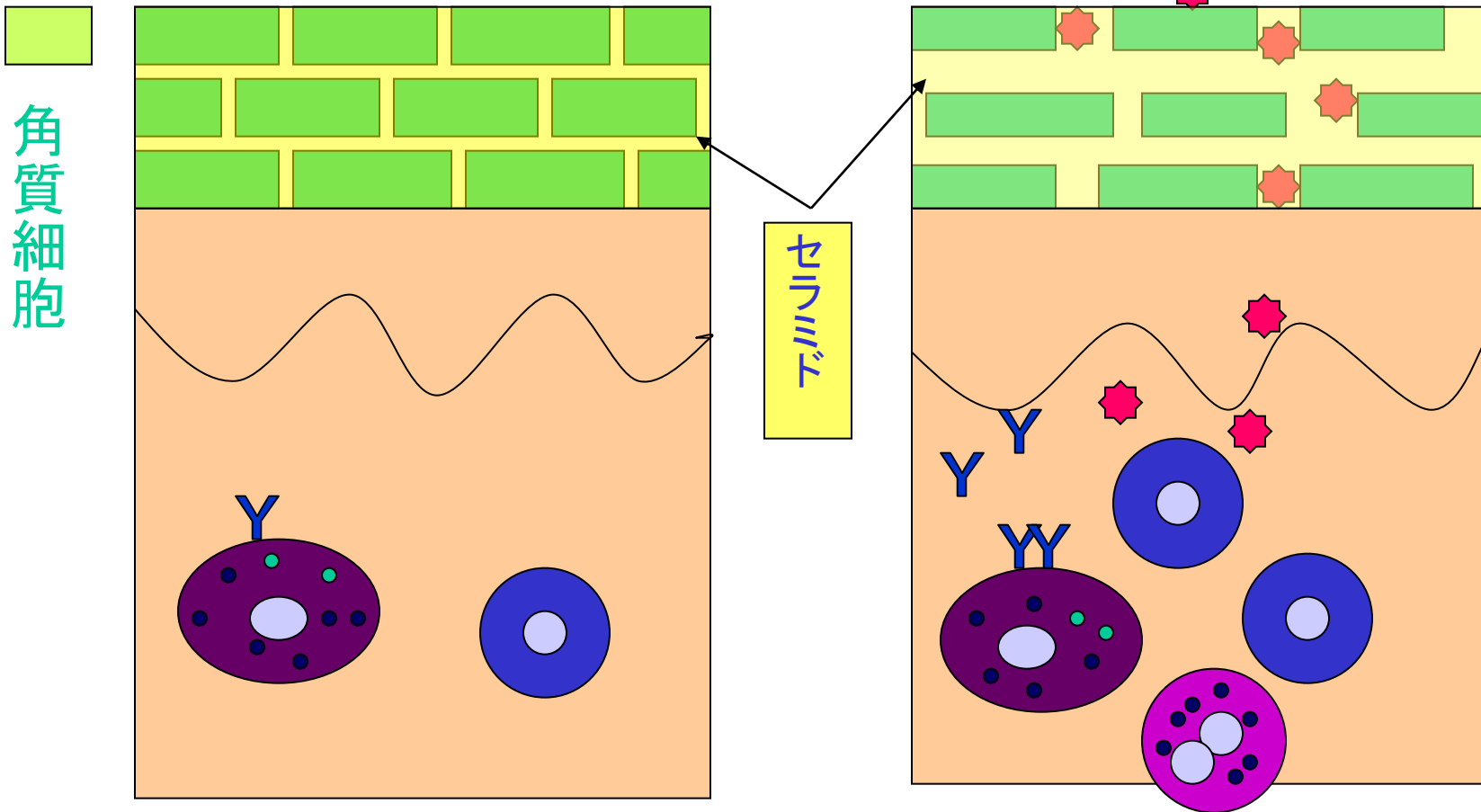


# 皮膚のバリア機能

健常者

アトピー性皮膚炎患者

アレルギー



# 食物アレルギーとアトピー性皮膚炎

最近の研究では、湿疹やアトピー性皮膚炎で皮膚のバリア機能が障害されると、皮膚から色々な食物抗原が体内に侵入し、食物アレルギーを起こす原因となることがわかりました。

従って、赤ちゃんの皮膚がかさかさしたり、ジュクジュクした場合は、早めに皮膚を清潔にして、保護する対策が勧められています。

具体的には、スキンケアと保湿剤を朝と晩に塗布することです。

# アトピー性皮膚炎の原因

原因となるアレルゲンの多くは、ダニをはじめとするハウスダストです。乳幼児は卵、ミルク、大豆などに感作されている場合は、まれに食物が原因となることもあります。

その他、汗や垢、食べ物の汁などの汚れ、衣類などの刺激、洗剤やシャンプーなども刺激になって症状がひどくなることもあります。

# 日常生活の注意点

ひっかくとなかなか治らず、ひどくなります。  
爪はいつもきれいに切って、引っかかないようにしましょう。

入浴について：垢や泥がついていると、湿疹は悪化します。入浴し、石鹸やシャンプーでよく洗ってください。

但し石鹸の成分が残っていると湿疹の悪化の原因になるので十分に洗い流してください。

食事：成長発育のためには、バランスのとれた食事をとることが大切です。したがって食べると湿疹が悪化することが明らかな食品だけは食べないようにしましょう。

衣類：肌に直接触れる衣類は、皮膚を刺激する素材を避けて吸湿性や通気性のよい衣類をえらんでください。洗濯では十分にすすぐことが大切です。

掃除をしたりふとんを日光に十分干すなど、できるだけアレルギーであるダニやホコリの除去に心がけてください。

# ステロイド軟膏はこわくない

アトピー性皮膚炎の症状が強い時は、ステロイド軟膏をつかって炎症を  
しずめ、軽快したら徐々に塗る回数を減らします。

ステロイド軟膏は強いものから弱いものまで2万倍も強さがちがいます。

顔は弱い軟膏、体は少し弱い軟膏、手足は少し強い軟膏を使います。

アトピー性皮膚炎の症状が軽快したら、軟膏を弱くして使います。

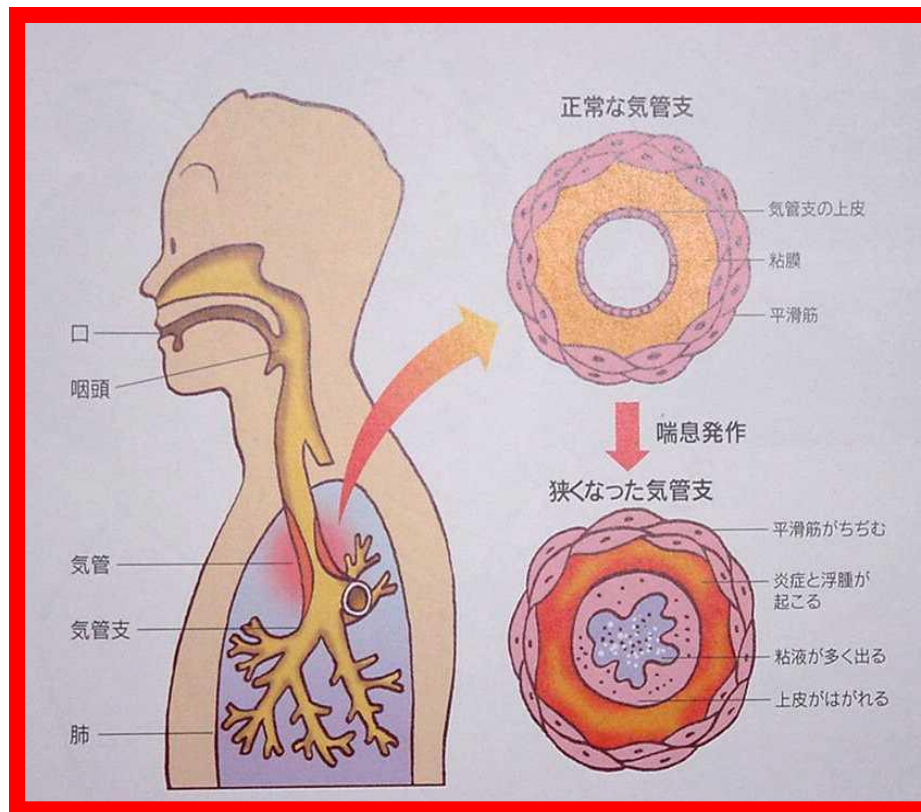
完全によくなったら、保湿剤のみを使って皮膚を保護します。

診察は、はじめは週1回、落ち着いたら2週に1回となります。

# 喘息とはどんな病気ですか？

気道が収縮して、空気が通りにくくなるため、咳や喘鳴が生じ、時に呼吸困難を認める。

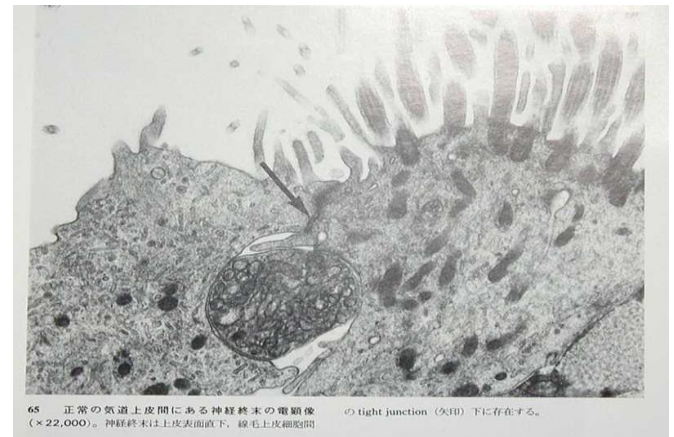
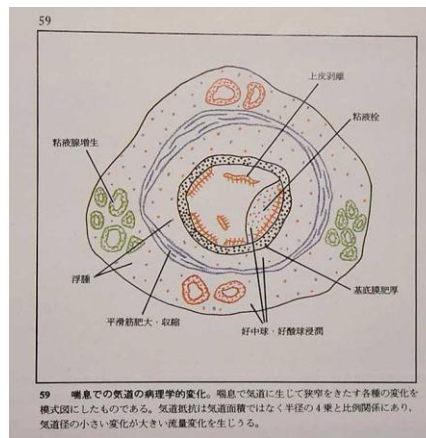
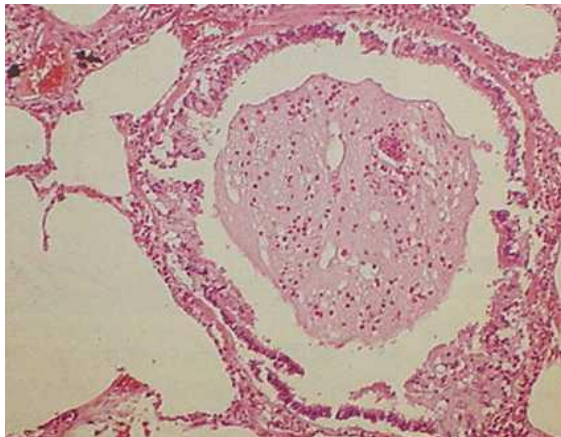
自然にあるいは治療により改善するが、しばしば繰り返す。他の肺、気管支、心疾患等を除く。





# 喘息とはどんな病気ですか？

最近の研究成果により、気管支喘息患者の気道には慢性の好酸球性炎症が存在することが明らかになった。この慢性炎症が病態の基本であり、非発作時にもこの炎症は持続していることから、喘息の治療は発作時（気管支拡張剤）のみならず、毎日継続した治療（抗炎症剤）が必要であることが認識されてきた。



# 新潟県加茂市での喘息罹患率調査結果

調査年と 対象人数	%	男 性			女 性		
		小1-3	小4-6	中1-3	小1-3	小4-6	中1-3
1990年 1589人	頻度	9.8	4.7	5.1	4.1	5.4	3.7
	溶解頻度	0.7	2.2	1.9	1.5	2.0	3.7
1997年 1194人	頻度	10.4	8.8	2.5	4.9	5.1	2.4
	溶解頻度	0.0	0.4	1.3	1.0	1.7	0.0

日本国内の調査では、最近10年間で小児の喘息罹患率は低下傾向にあります。

# 家庭でおこなう環境整備と喘息治療

- 1 アレルゲンとなっている室内塵やチリダニなどを減少させるために、掃除や布団の手入を十分に行いましょう。
- 2 ねこ、いぬ、ハムスターなどのペットは飼わないように。
- 3 家の中での喫煙はいけません。部屋を変えても空気は循環しますので気をつけましょう。
- 4 喘息日記は毎日記載し、受診時に持参しましょう。
- 5 喘息の治療薬は主治医と相談しながら、発作が出なくなっても2年間はずづけましょう。